

◇浄土三部経は「真実」の教え

浄土真宗の所依の經典は浄土三部経(仏説無量寿経・仏説觀無量寿経・仏説阿弥陀経)ですが、夫々の結びの文言には歡喜とあります。歡喜は最高のヨロコビの意ですし、又、各經典の聴衆が1250人とか2000人とあります。当然の事ながら1000余人の中には、有識者だけでなく、一般大衆(老若男女)等の人達が参集されていたと想像されます。その人達が皆それぞれ「歡喜」したとは大きな意味があります。その人達の中で100%体得できたと解せます。有識者は有識者のレベルで、大衆者は大衆者のレベルで完全に理解が得られたのです。それは教説が「真実」であったという帰結が答えになります。「歡喜」を視点を変えて一考してみました。



◇お正信偈を読み・聞き・味わうの集まり

お彼岸の中日(3月20日)1時からお正信偈を読誦しての法要の後、お正信偈を通して浄土真宗のみ教えを読み聞き学びたい、と計画しました。担当は副住職です。予定としては法要後の1時間を考えています。秋の彼岸も同じです。尚、資料等は当寺で用意します。都合をつけご参加ください。

◇今月の安樂寺伝道掲示板

人の為と書いて
いつわりと
読むんだねえ
相田 みつを

